

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 人間の普遍的な能力によってつくられた文明と文明の身体化した姿である文化、および教育について論じた説明的な文章によって、文脈に即しての読み取りや言葉の知識、例の意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。
- ② 「古今和歌集」の和歌や「源氏物語」の一節をふまえて、奈良朝と平安朝の「梅の花」に関する観賞の対象の違いを考察した文章によって、古典に関する基本的な知識、また古典の内容やそれに関連した現代文の理解の程度、および当時の美意識についての的確に読み取り表現する能力をみる。
- ③ 筆者が小学校6年生のときの、祖父への愛情と子どもなりの体面、そしてそれを温かく受け止めてくれた大人たちを、小さな一匹のヤマメのエピソードの回想をとおして描いた文学的文章によって、登場人物の心情を想像力を働かせつつも表現に着目して読み取り、それを的確に表現する能力をみる。